

Light Friend Association Since 1977



LFA

145 号
2020 年 4 月

最新情報は
HPからどうぞ！



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>

湘南あっとほーむ・ひだまり



／ 開所から3か月がたちました！ ／



Index - もくじ -

- P1-2 湘南あっとほーむ・ひだまり 開所から3か月がたちました
P3 光友会 2020 年度重点事項 | P4-5 事業所だより | P6 あーいえばこーゆーかい④
P7 新人紹介 | P8 推進協だより・首里城復興募金の御礼



令和2年1月6日 開所式の様子



「湘南あっとほーむ・ひだまり」開所から3か経って

所長 丸田隆司

常時介護が必要な重度の障害を持つ皆様は、外に出るといえば支援施設や病院に通う日常を過ごすことが多く、生活の幅が非常に狭い中で完結して地域との繋がりが薄いのが現状です。「湘南あっとほーむ・ひだまり」は常時の支援と一時的な宿泊の場を提供する事で地域での生活を支え、重度障害者が地域の市民として生活できるようにすることを目標としています。

開所して3か経ち、利用者の皆さんは環

境の変化に慣れてきました。職員も開所からしばらくは手探り状況での業務で、余裕など皆無でした。今は利用者の皆さんとの関わりの時間が明らかに長く持てる様になり、コミュニケーションが深まってきました。

4月から新しい期がスタートしました。私たちひだまり職員も目標に向かってスタートしたばかりですが、地域住民の一員であることを念頭に、全員「和」を大切にしたいワンチームで取り組んで参ります。



社会福祉法人光友会 2020 年度重点事項

社会福祉法人制度は、戦後における我が国の社会福祉発展に大きな役割を果たしてきたが、その後の社会環境の変化により「措置から契約へ」「民間企業参入」など規制緩和の変革が行われ、2016 年の社会福祉法改正では「経営組織のガバナンスの強化」や「事業運営の透明性」が課せられてきた。

一方、労働力人口の減少により人手不足問題が深刻化する中で、社会福祉法人が地域における多様な福祉ニーズへの対応や、地域共生社会の実現等に向けた取組みを進めるため、経営の協働化や大規模化に取り組むことが提唱されてきている。

このような時代背景の中で、地域福祉の核機能を果たすべく障害者のみならず全ての地域住民がいつまでも安心して利用できる事業経営を目指して、次に掲げる事項を 2020 年度の重点事項として取り組んでいく。

1 利用者に対する基本姿勢

(1) 老朽化する事業所については、長期的な改修計画を立案して、施設の快適性の向上と延命に資するよう具体的な改修を進める。

(2) 農業の後継者不足が課題となる中、障害者雇用、各層への就労支援、居場所づくりによる福祉と農業分野との連携を進める。

2 社会に対する基本姿勢

社会福祉法人の再編の流れでも確固たる法人の存在感を示せるよう、経営の強化と広報戦略を積極的に進める。

3 福祉人材に対する基本姿勢

(1) 福祉人材の不足に対応するため、将来を見据えた幅広い人材育成と計画的な採用・人材発掘を進める。

(2) 働き甲斐のある職場環境を構築するため、キャリアパスシステムの仕組みを整備するとともに、研修体制の充実や職員交流を通じて風通しの良い職場づくりを進める。

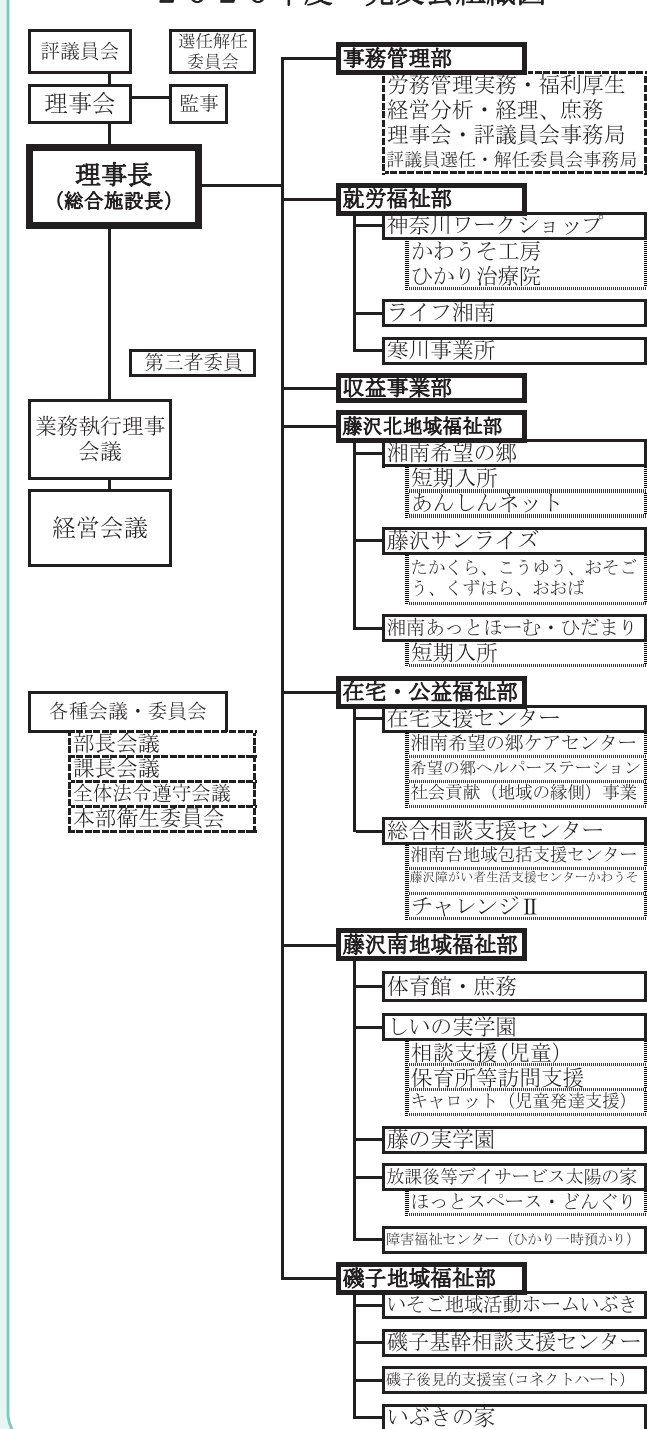
4 マネジメントに対する基本姿勢

(1) コンパクトでわかりやすい業務組織を維持し、責任体制の明確化と機動性に富む組織づくりを進める。

(2) 安定的な経営を継続できるように、公的な使命を担いながら、指定管理施設の建替え対応と継続受託への準備を進める。

(3) 光友会が持続可能な法人であり続けられるよう、中・長期的な展望に基づく将来構想の検討を進める。

2020年度 光友会組織図



事業所だより

寒川事業所

ソースかつ丼100円！＜お子様の食事準備支援＞

加藤 亮郎

3月26日新型コロナウイルス感染が拡大する中、お子様の食事応援として寒川まち食堂自慢のソースかつ丼を限定100食100円にて販売しました。

事前にタウンニュースの掲載やチラシのポスティングを行ったこともあり、当日は販売前から約30人の列ができました。

販売においてはマスクの着用やアルコール消毒のご協力をお伝えし、利用者それぞれが販売役割分担を一生懸命行い、準備した100食は20分で完売してしまいました。購入していただいたお客様の喜ぶ笑顔を見て、私たちも嬉しくなりました。

「食」を通じてささやかながら地域に貢献できたかと思います。



ライフ湘南

ポイ捨て無くし隊活動

上西 和広

2月15日AM 湘南大庭地区主催の「ポイ捨て無くし隊活動」へ参加しました。当日以外にも年間で合計4回、活動に参加してきました。地域の参加者の方々と約1時間、指定されているエリアを一緒に歩いて回り、たくさんのポイ捨てゴミを拾い集めました。

これからも、利用者の方々が地域交流する場の一環として参加を続けていきたいと思っています。



神奈川ワークショップ

避難訓練を実施しました

高野 英夫

3月9日、神奈川ワークショップにて避難訓練を行い、訓練後、消火器訓練を行いました。

水を入れた消火器を使用し、「火事だー！火事だー！」と周囲に伝えながら少し先の目標に向かって噴射します。職員の訓練が終わったあとに利用者の方を募ったところ、次々と手が挙がりました。率先して消火活動訓練に参加していただけて、有意義な時間となりました。



湘南台地域包括支援センター

公園体操で新しい出会いを

大西 剛

湘南台地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者が自主的に行っている「公園体操」の立ち上げと、その継続のサポートをしています。

「公園体操」とはその名の通り、公園でラジオ体操などを行うのですが、湘南台公園で初めて「公園体操」が立ち上がり、早9年。今や湘南台地域包括支援センターが担当する地域では9ヶ所の公園で「公園体操」が行われています。内容もラジオ体操のほかに、太極拳やストレッチ、歌のコーナーなどを加え、進化しています。また、高齢者同士の交流の場となっているだけでなく、地域の保育園との交流も始まっています。

「公園体操」は健康作りにつながるだけではなく、地域の人との新しい出会いの場にもなっています。



事業所だより

湘南希望の郷
ケアセンター

Let's卓球プログラム！

石井 健太

ケアセンターのプログラム活動として行っている卓球の取り組みを紹介します。

参加者は立位を保って活動できる方もいれば、車椅子を使用して参加される方もいます。今年度には光友会評議員で日本卓球療法協会理事長の長瀬氏の力もお借りし、皆で楽しみながら活動できる卓球を教えてくださいました。始めは、ラリーが続かなかった利用者の皆さんも、段々と数回が30回近く続いたり、8人でチームに分かれてゴールを



決める卓球をしたりと大変盛り上がりしました！

皆さんの笑顔があふれる日中活動をこれからも提案していきたいと思います。

藤沢市太陽の家
藤の実学園

駅伝大会を開催しました！

猪狩 千弥

3月初旬、今年最後の行事「駅伝大会」を開催しました。

各班代表者が、利用者の皆さんや職員、ご家族からの応援を受け、たすきをつなぐべく頑張って走られていました。

お天気にも恵まれ、とても盛り上がった駅伝大会になりました！

藤沢市太陽の家
しいの実学園

☆社会体験ごっこ☆

大竹 有希

毎年、しいの実学園では社会体験を行なっています。2月以降に企画をしていたクラスは、新型コロナウイルス感染予防のため、園外への社会体験を自粛することとなりました。しかし、学園内で同じような体験ができないかと考え、保育室をいちご農園に見立てて社会体験ごっこをしました！

保育士がアイデアを出し合い、事前に準備を行なった



事で、どのお子さんも笑顔で参加する事が出来ました。

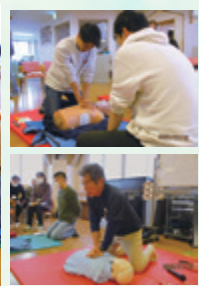
いそご地域活動ホーム
いぶき

「普通救命講習Ⅰ」を実施しました

加古川 昌子

1月18日に磯子地域福祉部の関係職員39名が集まり「普通救命講習Ⅰ」を実施しました。当日は「横浜市防火防災協会」講師による講義と、実践に基づき2人一組で人形を用いた「CPR」と「AED」の使用方法を練習しました。

職員から出された実際の活動中に起こりうる緊急事態時の対応への質問についても分かり易く解説していただき、実りある研修となりました。



就職おめでとうございます！

神奈川ワークショップを利用されていた2名の方が就職しました！

- ・株式会社 魚喜 宮崎明莉氏
- ・藤沢市役所 長谷川大矩氏

おめでとうございます。これからも頑張ってください。



あーいえばこーゆーかい 45

理事長 五十嵐 紀子

元気の出るアサリ飯に想う

私は、高齢者雇用の総合誌「エルダー」を毎月購読している。この中で日本史にみる長寿食というページがある。食文化研究家永山久夫氏が毎月シリーズでこのページを受け持っている。2月号では“春は元気の出るアサリ飯”と題した記事が載っていた。

貝類の中で人気があるのがアサリやハマグリ。アサリの語源は「漁(あさ)る」から来たといわれるほど、各地の河口や遠浅の海でザクザク採れていたという。春の濃厚な味わいを感じさせるアサリを好んだのが江戸の庶民たちであったという。江戸後期の風俗を伝える「守貞謄稿(もりさだまんこう)」は、アサリについて「江戸川にこの貝を漁するものがはなはだ多し」と記述しているという。

アサリは大変安価だったため、盛んに食べられていたそうであるが、アサリ汁で困るのが貝殻が沢山出てしまうことだったようで、これを捨てるために、家族は貝殻を入れるために掘り鉢を囲んで食べていたそうである。そして次の様な川柳が生まれたと記されている。“掘り鉢を 取り巻いて食ふ アサリ汁”

ところで、アサリの食べ方で庶民の中に人気になったのが「深川めし」。幕末近くの江戸の町に、屋台料理として登場し、大評判になったそうである。

むき身のアサリに油揚げ、ざく切りのねぎを加え味噌や醤油で味付けして熱々のご飯にたっぷりかけ、かっこみ食いをするのが深川めしで「アサリ飯」とか「深川どんぶり」等とも呼ばれていたとの事。

アサリには独特のうま味を出すコハク酸やグルタミン酸が豊富に含まれており、中でも注目に値するのがタウリンの多さ。疲労回復に役立ち、やる気が湧いてくるといわれる。

江戸っ子の元気めしであった今が旬のアサリご飯を沢山食べて、新型コロナに打ち勝つ元気を出して頑張りましょう。

＼気がつけば視野が広がる / イキイキチャレンジ

2015年のキックオフから数えて5回目を迎える事となった本大会も、会を重ねる毎に取り組みの内容や発表の仕方がレベルアップするとともに事業所のカラーも出てきました。

活動が推奨している「業務マニュアル化」をテーマに、「動画マニュアルづくり」にチャレンジした「藤の実学園」が審査員賞を受賞したほか、小学校への出前授業を通じて地域に拓かれた施設作りを目指した「湘南希望の郷」。そして、「湘南台地域包括支援センター」の公園体操やプレゼンが評価され、それぞれ受賞へとつながりました。日頃の支援を整理して報告するという段階から、パリエーションが増えるタイミングに差しかかっているとも言える本活動が、次年度どのような展開を見せるのかが楽しみです。

2019年度イキイキチャレンジ活動発表大会 発表タイトル一覧

KSM 大賞	「藤の実学園イキイキ動画マニュアル」	藤の実学園
チャレンジ大賞	「ポッチャで社会貢献」	湘南希望の郷
イキイキ大賞	「高齢者も現役世代もいきいきと！」	湘南台地域包括支援センター



「就労施設のあるべき支援について」	神奈川ワークショップ
「行動障害がある M さんへのアプローチ」	湘南希望の郷ケアセンター
「しいの実学園に求められる支援とは」	しいの実学園
「毎朝の月間標語の取組み」	いそご地域活動ホームいぶき



ありがとうございました！

1月31日にイトーヨーカドー労働組合湘南台支部様よりご寄付をいただきました。光友会の事業に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



新人紹介

①今夢中になっている事
②実は私は〇〇なんです。or 〇〇だったんです。

事務管理部



中川 稔行
①一人でパズルをしながら、家で酒を飲むこと。
②出不精なんです。

在宅支援センター



尾上 義和
①高力カオのチョコレートにはまっています。
②文房具オタクなんです。

湘南希望の郷



阿部 千春
①御朱印集め：今は行けなくて残念です。
②北海道から来たばかりなんです。

神奈川ワークショップ



佐々木 里織
①編み物（かぎ針編み）。
②洋菓子作りが趣味なんです。

神奈川ワークショップ



権田 栄波
①筋トレに夢中なんです。
②漢字が苦手なんです。

しいの実学園



前田 美恵子
①ミュージカルや舞台を観る事に夢中です。
②ペコちゃんが好き。

しいの実学園



池田 百花
①ジャニーズのDVDを観る事です。
②空手で初段なんです。

しいの実学園



杉本 悠里
①どうぶつの森とポケモンをすること。
②特撮番組が好きなんです。

しいの実学園



塩澤 遥奈
①YouTubeを追い掛ける事。
②オタクなんです。

しいの実学園



中川 杏由菜
①映画とテレビを観ること。
②ギタリストなんです。

しいの実学園



大澤 朱里
①映画を観に行く事です。
②吹奏楽部だったんです。

藤の実学園



奥津 香奈子
①毎日インスタにブタ日記を投稿しています。
②ブタを飼っています。

藤の実学園



熊切 千尋
①おいしいお店をみつけること。
②2人の男の子の父親なんです。

藤の実学園



齋藤 拓崇
①プロ野球の開幕をとっても楽しみにしています。
②おいなりさんが大好きです。

いそご地域活動ホームいぶき

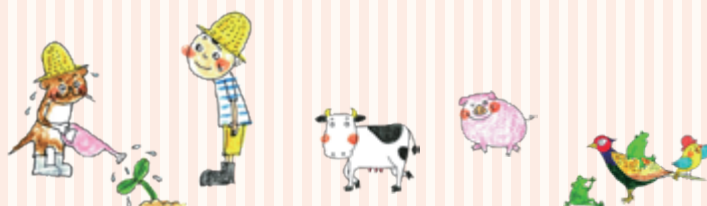


小野 七恵
①飼いたい猫のかわいい仕草に夢中なんです。
②犬も好きなんです。

いそご地域活動ホームいぶき



佐藤 百華
①アボカドグッズ集め。
②白米が苦手なんです。



・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

去る2月13日、藤沢市役所会議室において光友会事業推進協議会2019年度「成年後見制度勉強会 Part 2. ～知っておきたい将来への備え～」をテーマに実施いたしました。

講師は藤沢市社会福祉協議会の地域コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）とふじさわあんしんセンターの職員の方2名にお願いしました。当日は、スタッフ含めて37名の方に参加いただき熱心に講師の説明に耳を傾けました。参加者の年代も40歳台から80歳台までと幅広く、特に高齢の親という立場から近い将来への不安（残された方への）に対する準備のために参加されたことが裏付けされました。

第1部は「成年後見制度の振り返りとあんしんセンターの役割」と題して藤沢市社会福祉協議会ふじさわあんしんセンターの古舘氏による講演、第2部は「コミュニティーソーシャルワーカーによる事例を交えた具体的な支援」について藤沢市社会福祉協議会コミュニティーソーシャルワーカーの伴氏による講演を、約2時間にわたり熱心に受講いたしました。

講演後のアンケートについて以下に概略を掲載しておきます。

①勉強会に参加した理由・きっかけは？

- ・ 神奈川ワークショップに通う娘の今後について考えるための勉強をしたいから
- ・ 成年後見制度が難しくて良くわからない
- ・ 親の高齢化のため

②今回参加してよかった点は？

- ・ 講師が熱心だった
- ・ どこに相談すればよいか分かった
- ・ 藤沢市社会福祉協議会の取り組みが理解できた

③次回聞きたいテーマは？

- ・ 今回の講師による事例（具体例）紹介
- ・ 相続について
- ・ 藤沢市の今後の障害福祉の取り組みについて

首里城復興募金活動

世界遺産である沖縄県首里城が火災で焼失し、その復興募金活動を1月17日に開催した「第37回チャリティーコンサート」の会場において実施しました。

多くの来場者からご賛同を頂き、108,510円もの寄付が集まりました。永井実行委員長と中野事務局長が2月14日に、沖縄県東京事務所

渡久地一浩所長に直接面会して支援金を手渡し、復興への想いを伝えてまいりました。

チャリティーコンサート実行委員会
実行委員長 永井洋一



編集後記

新型コロナウイルスが世界で猛威を奮っています。日本も休校、各種行事の中止等で大きな影響を受けています。一見すると被害甚大ですが、在宅勤務、時差通勤、テレビ会議、インターネット授業等々が実施されることで、働き方改革・教育改革を促進する働きも期待できます。普段の慌ただしい日々を離れ、落ち着いてものを考える時間も持てます。皆で力を合わせ、知恵を出し合い、ピンチをチャンスに変えていきましょう。(A.O.)

編集委員

五十嵐理事長、森（事務管理部）、井地・高野・上西（就労福祉部）、村井・丸山（藤沢北地域福祉部）、松井・大貫（在宅・公益福祉部）、猪狩・大竹（藤沢南地域福祉部）、加古川（磯子地域福祉部）

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊 LFA 第145号

発行日 2020年4月
発行 光友会
責任者 理事長 五十嵐 紀子
発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1
社会福祉法人 光友会
電話 0466-48-1500
印刷所 光友会 神奈川ワークショップ